

事業所名 牧が丘なかよしクラブ

支援プログラム

作成日 2025年 1月 31日

法人（事業所）理念		ひとりひとりに合わせたオーダーメイドプログラムを立案・実施し、子どもと大人が一体となり、感情の共有を通して心身共に健康に成長できるような居場所となる。			
支援方針		トライ＆リトライを重ねるプロセスを経験しながら、できたという経験を積み重ね成功体験へと結びつけていく。			
営業時間		9時	0分から	18時	0分まで
		送迎実施の有無		○あり なし	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	主体性を引き出しながら能動的にアクションを起こせるよう、見守りと、必要に応じた環境支援を取り入れる。通所することに目的意識を持ち、生活リズムを安定させられるようにしていく。			
	運動・感覚	全身運動を通して感覚が統合されるよう環境設定を行う。五感を刺激する活動を取り入れ、充実感や安心感が得られる感覚を経験できるよう促していく。			
	認知・行動	興味関心に沿ってさまざまな提案を行い、自己選択・自己決定ができるプロセスを経験できるようにする。試行錯誤する過程を十分経験できるよう配慮し、自分で気づき自主的に取り組むことができる能動性を育てていく。			
	言語 コミュニケーション	言語の形成と活用のため、具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけながらコミュニケーションを実施する。コミュニケーションの基礎的能力の向上のため、言語での表出が難しい利用児に対しては、指差し、身振り、サイン等の活用をおこないながらコミュニケーションを図り、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援を実施する。			
	人間関係 社会性	自己の理解と行動の調整のため、視覚、聴覚、嗅覚、触覚、深部感覚、前庭感覚等を用いながら、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを実施し、社会性の発達を促せるよう支援を実施する。 仲間づくりと集団への参加のため、遊びの発達段階をもとに遊びの内容を熟慮し、遊びを実施する。			
家族支援		個別療育でのペアトレーニング 家族からの相談や悩みに対するの助言	移行支援		保育園、幼稚園、学校等への情報共有
地域支援・地域連携		関係する放課後等デイサービス事業所や児童発達支援事業所、相談支援事業所に様子を報告するなど情報共有し、密な連携を図る	職員の質の向上		新入職員研修 法定研修(コンプライアンス、マナー・接遇、虐待防止、ハラスメント、感染症予防、人権) ケース検討
主な行事等		季節に合わせたイベント			